

2006 年度

科目名 演習 I	対象学科・学年 文学部日文3回生	担当者 阪口 和子
授業テーマ 平安時代女流文学の研究		
授業の概要と目標 宮廷や貴族に仕え、平安時代の文学の一翼を担った女房たちは、その社交生活の場でまた日常生活の場で多くの和歌を詠み、それぞれ歌集や物語を残しています。授業では彼女たちの残した和歌を読みながら、平安時代の文学について考え、またその研究方法を学び、卒業研究につないでゆきます。		
評価方法 前後期の発表とレポート。 出席。		
テキスト プリントを配布。	著者	出版社
参考書 授業時に紹介する。	著者	出版社
授業スケジュール・内容 前期は『百人一首』から女房の歌をとりあげて、輪読します。 1 平安時代の和歌文学について概説。 2 和歌の読み方、研究方法等の説明。 3 各自歌を選んで、調べ方を学習する。 4 担当者の発表形式で輪読します。 5 同上 〃 15 まとめ 後期は前期でとりあげた歌人から、一人を選んで、その歌集・歌人・歌について発表します。 1 平安時代の女流歌人について概説します。 2 平安時代の和歌集について説明します。 3 『斎宮女御集』を読む。研究方法等の説明 4 担当者の発表の形ですすめます。 5 同上 〃 14 15 まとめ		